

資料 2

西東京市公民館運営審議会
令和 6 年度第 2 回定例会

令和 5 年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 令和 6 年 6 月 19 日

	実施館	事業名	期間・回数	参加者数	実施内容	主な講師等
1	柳沢	ムービールーム柳沢	令和 5 年 8 月 9 日か ら 令和 6 年 3 月 13 日 水曜日ほか 14時から16時30分ほ か 10回	延べ446人	多様なジャンルの名作や2010年以降の 話題性のある作品を上映した。	
2	柳沢	学齢期の子どもがいる人のための 講座 ココロとからだを育む「生と 性」親子のおはなし	令和 6 年 1 月 18 日か ら 2 月 29 日 木曜日 10時～12時 全 4 回	延べ67人	・単に「性教育だけ」を切り取って考 えるのではなく、日常のコミュニケー ションを土台に、身体の変化や生き物 の生と関連付けながら考えていくこと を学んだ。 ・LGBTQについて理解し、多様な性のあ り方について考える機会となった。	諸井更絵子（株式会社kucca代 表取締役、文部科学省認可 （財）日本余暇文化振興会認 証育児セラピスト） 星 竜也（レインボーコミュニ ティ西東京代表） 喜田 貞（まちかど保健室、元 西東京市小学校養護教諭）
3	柳沢	ライフデザイン講座 仕事なんか生きがいにするな ～生きる意味を再び考える～	令和 6 年 2 月 15 日 木曜日 2 月 29 日 木曜日 3 月 13 日 水曜日 19時30分から21時15 分 全 3 回	延べ154人	頭と心の仕組みや、お金・会社・家族 との付き合い方をテーマに、自分ら しく生きることは何か、自分本来の心地 よさや生きる意味は何かを講師との対 話を中心に考え、参加者同士が共有し 学びを深めた。	泉谷閑示（精神科医） ファシリテーター：若井千鶴 （泉谷セミナー事務局員）

4	柳沢	<p>【共催事業】 第18回人形劇フェスタin西東京</p> <p>※人形劇フェスタ実行委員会との共催</p>	<p>令和6年3月3日 日曜日 ①10時から ②11時15分から ③13時から ④14時30分から 4回</p>	延べ358人	<p>「西東京市に人形劇を根付かせたい、子どもたちに人形劇の文化を届けたい」と活動する市民団体が実行委員会形式で企画・運営して開催。人形劇の他に学生運営の「工作のお部屋」を開き、様々な世代が学生と交流する場となった。</p>	<p>井上幸子（人形劇団プーク） 川尻麻美夏（人形劇団プーク）</p>
5	田無	<p>女性のための講座（保育付き） 絵本とわらべうたで楽しい子育て</p>	<p>令和5年9月27日から 令和6年3月6日 水曜日 10時から11時45分 全16回</p>	延べ144人	<p>・いわさきちひろの生き方を通して、自分自身の生き方について考える機会となった。 ・絵本やわらべうたを使いながら楽しく子育てをできる環境づくりについて考えた。</p>	<p>福岡淳子（保育と人形の会、日本と子どもの本研究会会員） 原島 恵（ちひろ美術館主任学芸員） 西村説子（NPO法人CAPセンターJAPAN 就学前プログラムトレーナー、NPO法人埼玉子どもを虐待から守る会理事）</p>
6	田無	<p>小学生親子夕方講座 日本の伝統文化「茶の湯」を学ぶ</p>	<p>令和5年12月12日から 令和6年2月27日 火曜日 16時30分から17時50分 全5回</p>	延べ72人	<p>親子で、日本の伝統文化「茶の湯」を歴史も含めて学び、体験した。</p>	<p>嶋田宗恵（西東京市茶道華道文化協会茶道部長、裏千家助教教授）</p>
7	田無	<p>趣味の講座 パンチニードル刺しゅう ふわ ふわモコモコ小物づくり</p>	<p>令和6年2月15日 2月22日 2月29日 木曜日 14時から16時30分 全3回</p>	延べ48人	<p>・手軽にできるパンチニードル刺繍を専門の講師に学ぶ機会とした。 ・パンチニードル刺繍を体験するだけではなく、コースターやポシェットを作成した。</p>	<p>井上直美（パンチニードル、手織りなどのワークショップを体験できるお店「WOOLLY」講師）</p>

8	田無	田無公民館 ロビーまつり	令和6年3月10日 日曜日 10時から15時40分 ※作品展示は3月1日 から3月14日	延べ992人	田無公民館を中心に活動しているサークルの活動成果を発表する場、地域住民と公民館利用者の交流の場として、実行委員会形式で開催した。	
9	芝久保	現代的課題を考える講座（保育付き） しあわせココロ学講座 ～より輝いて生きるために～	令和5年10月24日から 令和6年2月13日 火曜日 10時から11時45分 全13回	延べ129人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気力を充実させるための言葉の上手な使い方や、ストレスを感じた時の自律神経強化のための呼吸法を学んだ。また、食事・運動・睡眠の適度なバランスで心と体の健康維持、疾病予防を行えることを学ぶと共に、薬を用いずに健康を改善するための簡易な運動法を実践した。 ・ ピアノ伴奏で歌いながら同時に身体を動かすことが、身体や脳の活性化につながることで、また懐かしい曲を歌うことで、心が癒され穏やかになることを学んだ。 ・ コミュニケーションは、思い込みなどにより正確に伝え聞くことは難しく、自分と相手の常識は違うので、随時確認することが大切であることを学んだ。 	<p>松下元之（漢方養生学研究所、薬剤師） 石井文由（明治薬科大学 セルフメディケーション学研究室 教授） 石川文子（NPO法人子ども家庭リソースセンター所属、Nobody's perfect-Japan 認定トレーナー） 船井真知子（エムズスマイル主任講師、国立音楽院リトミック認定講師）</p>
10	谷戸	中学生が企画する小学生向け防災講座 めざせ！防災マスター!!	10月28日 土曜日 12月3日 日曜日 3月10日 日曜日 10時から12時 3回	延べ59人	<p>中高生ボランティアが「小学生向け防災講座」の企画から主体的に関わり、防災を「自分ごと」として捉えることを学び合いながら、講座開催に向けた取り組みを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 地震編 ・ 第2回 風水害編 ・ 第3回 防災講座成果発表会* <p>*準備会21回（中学生11人、高校生5人）</p>	小野修平（防災アドバイザー、ジョージ防災研究所代表）

11	谷戸	健康サークル見学体験会	令和6年 2月5日（月曜日） から 3月15日（金曜日）	34人	期間中の参加団体活動日に事前申込みによる見学体験の実施。	
12	谷戸	教養講座 音楽はひとつ ～ロマ、アラブ、ロシアの音楽 を学ぶ～	3月17日 日曜日 3月20日 水曜日 3月24日 日曜日 14時から16時 3回	延べ133人	・分断された世界や人々をつなぐ文化としての「音楽」を学んだ。 ・「流浪の少数民族と西欧」、「イスラームとアラブ音楽」、「ロシアの人々と音楽」といった現代社会の問題にもつながる音楽文化を包括的に学び、人々がひとつになる意味を考えた。	横井雅子（国立音楽大学特任教授、民族音楽学） 常味裕司（洗足学園音楽大学講師、ウード奏者） 中田朱美（国立音楽大学准教授、音楽学）
13	ひばりが丘	防災講座 防災芋づる大作戦	令和6年2月10日 土曜日 2月18日 日曜日 2月25日 日曜日 10時から12時 全3回	延べ71人	公開講座「八方ふさがり冷や汗避難体験」で、地域活動や防災活動に縁の薄い層の参加が見込める事例を提示した。自治会やマンションで防災に取り組む中で生じた悩みをグループで話し合い、悩みを共有する時間を設けた。実践紹介から今後の活動に役立つ知見を得ることができた。防災に関心のない家族や知人を誘って、ともに楽しむ防災イベントを体験し、誘われた人のポジティブな感想を聞きくことで、今後の活動への意欲につながった。	岡橋かおり、野呂順正（（株）イオタ地域防災アドバイザー） 竹上恭子（井の頭一丁目町会会長） 西東京レスキューバード
14	ひばりが丘	第15回 ひばりが丘フェスティバル	3月3日 日曜日 10時から16時10分	延べ519人	公民館を利用する市民団体に発表の場を提供することで、日頃の活動に対する意欲を高め、フェスティバルを創りあげるプロセスを通して活動の幅を広げていく機会となった。また地域住民が公民館利用者と一緒に発表や展示を楽しみ交流する場、学び合う場を支援することにより、世代を超えたつながりのできる「地域に根ざした公民館」を実感できた。	

15	ひばりが丘	<p>教養講座Ⅱ 「にんげんをかえせ」上映とトーク 草の根パワーによる非核・平和運動のヒント</p>	<p>令和6年3月16日 土曜日 14時から16時30分</p>	延べ38人	<p>「非核・平和」を「他人事」から「自分事」とするため、「にんげんをかえせ」の上映、1982年に「にんげんをかえせ」を上映しながら米国を縦断した「ネバー・アゲイン・キャンペーン」の体験談とミニライブ、「高校生が描いた原爆の絵」、杉並区公民館を拠点に広がった「原水爆禁止署名運動」に関する若手研究者の報告など視覚・聴覚・情動に訴えるプログラムを実施した。</p>	<p>上映作品：『にんげんをかえせ』（16ミリフィルム、20分、1982年） 中村里美（日米協力草の根プロジェクト「ネバー・アゲイン・キャンペーン」第1期生民間大使、シンガーソングライター） 平野叶大（早稲田大学文学研究科教育学コース修士課程で草の根平和運動を研究）</p>
16	保谷駅前	<p>【共催事業】 防災講座 いざという時の自助・共助を学ぶ ～大地震が起きても慌てないために～ ※北東部地域協力ネットワーク「ほくっとネット」との共催</p>	<p>令和6年3月9日 土曜日 3月17日 日曜日 3月24日 日曜日 14時から16時ほか 全3回</p>	延べ45人	<p>防災について考える時に大事な自助、共助、公助について学んだ。</p>	<p>筒井孝敏（ラジオフューズパーソナリティ） 莊 雄一郎（西東京レスキューバード代表） ほくっとネット会員</p>
17	保谷駅前	<p>高齢者対象講座 在宅医療と人生ノート</p>	<p>3月16日 土曜日 14時から16時40分</p>	延べ49人	<p>在宅医療に懸命に取り組む、若き医師と仲間たち『ピア～まちをつなぐもの～』の上映と人生ノートの活用のしかたを、「人生ノート協働啓発部会」のスタッフの協力のもと、最後まで自分らしく豊かに生きるためのトークイベント</p>	<p>地域包括ケアシステム推進協議会委員（医師、歯科医師会、薬剤師会等） 在宅療養の現場で働く専門職</p>